

ジャパン・ハウス有識者諮問会議
堀井巖外務大臣政務官 冒頭発言

- 本日は、お忙しいところジャパン・ハウス有識者諮問会議に御出席いただきありがとうございます。外務省を代表して、一言御挨拶申し上げます。
- ジャパン・ハウスの目指すところは、世界の多くの人々に対して、日本の多様な魅力を「世界を豊かにする日本」として表現・発信することにより、日本への深い理解と共感の裾野を広げていくことにあります。私自身も、外務大臣政務官になる前から、ジャパン・ハウスの創設を応援してきました。
- 本年4月にサンパウロが開館し、想定を大きく上回る来場者数を得て順調な運営が進んでいます。また、ロサンゼルス及びロンドンでは、現在開館に向けた準備が行われている状況です。本日は、3拠点から事業の中核を担う事務局の責任者の皆様にお集まりいただきました。後ほどそれぞれの状況についてご説明を頂きます。また、3拠点の責任者がこの有識者諮問会議に一堂にそろうのはこれが初めてでもあり、この機会に原総合プロデューサーより、ジャパン・ハウスのあり方についてあらためてお考えを伺わせていただきます。
- ジャパン・ハウスの主役は、委員の皆様のように、日本の多様な魅力に通暁し、それを表現・発信している方々です。本日は限られた時間ではありますが、実際にジャパン・ハウスが開館して初めての諮問会議でありますので、これまでの現地での状況も踏まえ、委員の皆様から忌憚の無い御意見を頂ければ幸いです。

（了）